

若基小だより

第29号 平成24年2月3日

文責 校長 實松 輝江

5年生が引き継ぎました 順調な滑り出しです

代表委員会

進行は運営委員会

本年度の卒業式は、3月16日（金）です。卒業式を迎えるまでに、6年生は後輩の5年生に様々な学校の仕事の引き継ぎをしていきます。代表委員会もそのひとつです。1月31日は、5年生の運営による第1回の代表委員会が行われていました。



司会、記録、観察など、初めてとは言えないほどの進行ぶりに驚かされました。

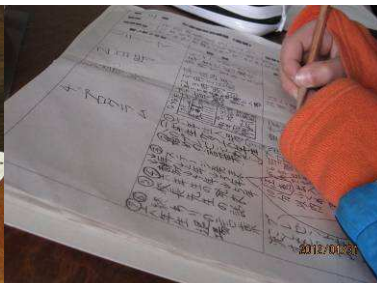
黒板には、話し合う事柄がみっちり記載されていて、話し合ったことは、短い言葉でまとめて書き加えています。

サインペンを色分けして使い分けるやり方に感心しました。今回の提案者は、集会委員会。

議案「お別れ集会をしよう」

提案理由「6年生に若基小学校での楽しい思い出を忘れないでほしい。お礼に感謝の気持ちを込めてみんなと楽しく過ごすお別れ集会をしたい。」

以上の提案を受けて、各学級で話し合ったものを持ち寄っての代表委員会です。提案者は、質問等にしっかり答えていました。



プログラム、各学年の場所、飾り付け、プレゼント、寄せ書などの議題が次々に決まっていきました。学級代表の子どもたちは、クラスに帰って報告しなければいけませんので、決まったことをきちんと記録するのも真剣でした。



堂々と自分の意見を言うことができている。建設的な意見が出されていました。

3年生は、初めて参加しました。初めての参加にもかかわらず、分からないことを質問するなどいっしょけんめいさが伝わってきました。



5年生のデビュー戦でしたが、議題を深めよくまとめることができましたと思います。「お別れ集会」の成功を願っています。

代表委員会で、子どもたちは自分の言いたいことをきちんと述べ、人の意見もよく聞いていました。記録したものを、クラスに帰って正確に伝えることもできると思います。この会は異学年が交わる数少ない話し合いの場です。このようなコミュニケーションの機会を大切にしたいと思っています。6年生から5年生への移行は、縦割り活動の清掃や「けやきタイム」などでも進められています。